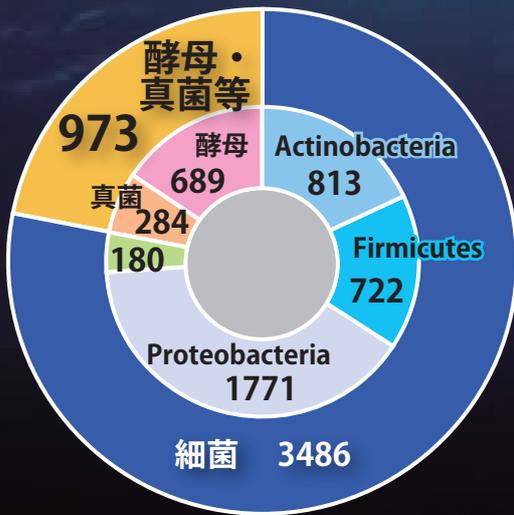


深海バイオリソース提供事業

JAMSTEC2023

生命理工学センターでは「しんかい6500」等の調査船を用いた深海微生物の研究開発を行っています。本事業では、これらの研究の過程で採取された深海堆積物や分離株の一部を提供します。企業・大学・研究機関における、新規の有用微生物や酵素、生理活性物質などの探索にご利用いただけます。

提供可能なバイオリソース（順次拡大中）



■深海堆積物（凍結サンプル、約1,000種類）

サンプリング海域の例

- ・沿岸（相模湾、駿河湾、水深～1,000m）
- ・沖合（南海トラフ、水深～3,000m）
- ・超深海（日本海溝、伊豆・小笠原海溝、水深～8,000m）など

■分離培養株

好気条件で分離培養された株を提供

- ・真核微生物株（約1,000株）
- ・細菌株（約3,500株）

※好気条件、大気圧環境下で培養可能な株を提供しています。

権利および費用について

権利関係			
オリジナル	複製物	改変物等	
所有権	機構	共有	利用者
知財権	利用者*	利用者	利用者

※利用契約後に利用者によって創作した知的財産権に限る

	費用	
	一般	アカデミア
分離源堆積物	11,000円	5,500円
微生物菌株	1株あたり 2,750円	1株あたり 2,750円

※1地点1バイアル当たりの金額

- ・提供に際しては、約款を準備しています。
- ・ご相談に応じて提供前の秘密保持契約の締結なども柔軟に対応可能です。

深海バイオリソースの活用事例



化学メーカーのケイ・アイ化成様（静岡）と化粧品原料メーカーのビタミンC60バイオリサーチ様（東京）では、熱海沖で採取された海洋酵母が生成する新規カロテノイドを用い、美白やしわ抑制などの抗酸化作用の機能性を化粧品で実用化し2024年度の販売開始を目指して取り組んでいます。

音声ガイド



右の二次元コードより音声ガイドを聞くことができます。



出口 茂
海洋機能利用部門
海洋生命理工学センター センター長